事　業　名　　Dream Day　参加型パフォーマンス劇場

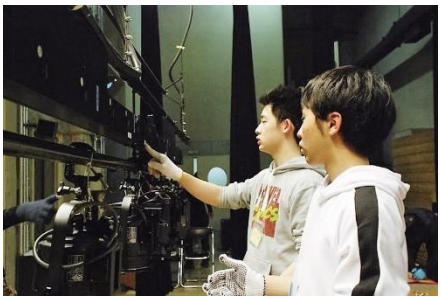
団体名	Misawa　English　Activities		
代表者名	米倉　幸星		
事業実施総額	149,628 円	補助金額	127,000 円
事業実施日	平成２９年７月２９日（土）、３０日（日）		
事業概要・成果等	**「事業内容」** 三沢七夕まつり期間中、大町オレンジ広場にパフォーマンス特設ステージを設置し、よさこいやミュージックライブの他に、浴衣姿で楽しめる催し物を開催。新たな繋がりをつくり、三沢の特色を生かし、国際交流の場を創造する。また事業を通し、若い世代の育成を行う。 ７/29（土） ・よさこい、祭囃子、サックス生演奏ゆかた Show！ ・音楽教室　合同演奏会・日米ゆかたファッションショー等 ７/30（日） ・生歌、生ウクレレのフラダンスショー・ミュージックライブ等 **「市民への波及効果」** 和文化に興味がある市民や若い世代との関わりを希望する市民が次回への興味を示す。 **「他団体との連携」** 三沢市国際交流課、大町商店会、基地内エアマン＆ファミリーレディネスセンター、三沢いぶき（よさこい）、三沢高校、三沢商業、八戸ウルスラ学院、八戸学院光星、八戸学院大ラグビー部等 **「成果」** 商店会の方々の理解も得ながら、たくさんの高校生ボランティアに活動の機会を与えることができた。 これからも三沢市を一緒に盛り上げていきましょうと声掛けしてくれる人、団体がたくさんあった。 **「改善点」** 外国人への告知方法やボランティアスタッフの有効な配置、スケジュール確認の徹底。関連団体との入念な打ち合わせ。 		

事　業　名　　お外に飛び出せ三沢っ子！スタンプラリー

団体名	スポーツクラブみさわ		
代表者名	小比類巻　佳代子		
事業実施総額	457,643 円	補助金額	331,000 円
事業実施日	平成２９年７月 22 日、８月５日、１月 27 日、２月 10 日、24 日		
事業概要・成果等	**「事業内容」** 様々なスポーツを体験しながら、子どもたちが自信をもって生き生きと成長できる環境づくりと、家族間、各種目の講師のとの世代を超えたふれあいや地域全体を楽しむことを目的に、月２回のスポーツ教室と市内の各種イベントでの出張ブースにスタンプラリーを行った。 ・7/22　カヤック教室　小川原湖※雨天のため中止 ・8/５　カヤック教室　小川原湖　①子ども５名、大人４名 ②子ども７名、大人４名 ・1/27　スキー教室　まかど温泉スキー場　子ども 14 名、家族 11 名 ・2/10　スキー教室　まかど温泉スキー場　子ども 16 名、家族 19 名 ・2/24　ボウリング教室　三沢ボウル　子ども 24 名、大人７名 **「市民への波及効果」** 気軽に参加できるイベントにより様々な場所へ出掛けるきっかけづくりと、専門的な技術を必要とするスポーツでも、講師が丁寧に指導することにより、安全で貴重な体験ができる環境を提供できた。 **「他団体との連携」** エアマン＆ファミリーレディネスセンター、グランドゴルフ協会、Misawa English Activities、リバーランス、三沢市体育協会、三沢シーハイル、ボウリング協会、市民スポーツ課 **「成果」** 参加した子供たちが「初めてやった！」「楽しかった！」「できた！」と言って夢中に活動してくれたこと。カヤック教室について、１日１回の予定を２回に変更し、より多くの子供たちが長い時間カヤックを楽しめるように改善した。 **「改善点」** ・スタンプラリーの期間を検討する。・出張ブース、協力団体の増加。 		

事　業　名　　高校生キャリア教育事業（高校生パフォーマンスライブ）

団体名	Resonance（レゾナンス）		
代表者名	佐々木　弘高		
事業実施総額	605,980 円	補助金額	539,000 円
事業実施日	平成 29 年 11 月 5 日、12 月 3 日、1 月 28 日、2 月 10 日、11 日		
事業概要・成果等	**「事業内容」** プロの仕事を学び、体験する実践の中でのリアルなキャリア教室通して社会観及び職業観を醸成し、人間的な成長の機会と努力の大切さや達成感、充実感を体験させるため、企画、運営、演奏等、高校生による「高校生パフォーマンスライブ」を開催する。また合せてキャリア教育の研修も行う。 11/5(日) ・キャリア教育講座 1 回目　・自己紹介 ・ライブの概要説明 ・係分担の確認・ステージ上の専門用語 高校生スタッフ 7 名、出演者 13 名、大人スタッフ 8 名、講師 1 名 12/3(日) ・キャリア教育講座 2 回目　・各係に分かれて説明 ・お客さんを獲得するにはどうしたらよいかなどのディスカッション 高校生スタッフ 6 名、出演者 11 名、大人スタッフ 8 名、講師 1 名 1/28(日) ・自己紹介・講師紹介 ・最終打ち合わせ（当日の確認） ・出演者からステージ上でのリクエスト聴取・司会から出演者へ取材 高校生スタッフ 7 名、出演者 11 名、大人スタッフ 5 名 2/10(土) ・ミーティング、機材搬入、会場設営、音響・照明セッティング、 演出確認 ・ダンス部門リハーサル、楽器組み込み、ミーティング 高校生スタッフ 9 名、出演者 20 名、大人スタッフ 12 名、講師 4 名 2/11(日) ・ミーティング、バンド部門リハーサル ・ライブ本番、機材搬出、片付け、ミーティング、解散式 高校生スタッフ 9 名、出演者 28 名、大人スタッフ 16 名、講師 4 名、来場者約 180 名 ※その他、大人の運営スタッフで Skype、LINE グループで打ち合わせを適宜行った。		

事業概要・成果等	**「市民への波及効果」** 　高校生の頑張っている姿を市民の皆さんや市外からの来場者に見てもらうことで、活気ある三沢を PR することができた。 **「他団体との連携」** 県内高校（主に県南）、L.ステージクリエイト、BOUNCE **「成果」** ・キャリア教育講座を通して、自分を知ること、なぜ人は仕事をするのか等、これからの「生き方」について学ぶことができた。また、学校以外の信頼できる友達を作ることができた。 ・活動を通して、大人と高校生の信頼関係を築くことが出来た。 ・来場者が過去最高の約 180 人であった。 **「改善点」** ・開催日と名称の変更を検討したい。 

事　業　名　　寺山修司アートカレッジ

団体名	寺山修司五月会		
代表者名	中里　茉莉子		
事業実施総額	723,366 円	補助金額	642,000 円
事業実施日	平成 29 年 7 月 22 日、10 月 8 日、14 日、28 日、11 月 11 日、 平成 29 年 12 月 16 日、平成 30 年 2 月 10 日		
事業概要・成果	**「事業内容」** これまでの住民が住み続けたい魅力的なまち、これから移り住む人がずっと住みたい街になるために、寺山修司を三沢市のアイデンティティの一つと位置付け、寺山ゆかりの場所や三沢のまちの魅力を伝えるまち歩き講座などを行う。 ・7/22(土)　開講記念講座「寺山修司の演劇『市街劇』とは？」受講者 38 名 ・10/8(日)　木工造形ワークショップ「寺山修司遊びの劇場」受講者 511 名 ・10/14(土) まち歩き＆造形ワークショップ　受講者 15 名 ・10/28(土) 座学「寺山修司と青森の街」　受講者 16 名 ・11/11(土) 座学「『職業・寺山修司』としての寺山修司」　受講者 28 名 ・12/16(土) 座学「寺山修司にとっての『恐山・下北半島』」受講者 32 名 ・2/10(土)　座学「暖鳥と寺山修司」　受講者 25 名 **「市民への波及効果」** ・寺山修司本人像から現在に与える影響までを検証し、これを市民に紹介できた。また、昨年の座学とワークショップに、まち歩きを加え、より地域に根差して普及した。 ・今年度は、市内で開催される大規模イベント(8/6 寺山修司の幻想市街劇、10/8 アメリカンデー)との連携を図り、市民や団体により広く活動を周知することができた。 **「他団体との連携」** あおもり県民カレッジ三八地区地域キャンパス講座、三沢市、観光協会、記念館、三沢国際クラブ　等 **「成果」** 三沢市及び青森市での寺山修司の足跡を多く検証することもでき、更に関心・認知を得ることができた。 **「改善点」** ・集客の難しい日取りを避け、開催するようにする。 ・受講者からの聞き取り調査を踏まえ改善対応する。 ・単独開催のワークショップは集客が難しい。座学とワークショップの受講者層が違うため、過去の受講者以外にも広報アプローチする必要がある。ワークショップの場合は、出張型の方がうまくいく傾向にある。 		

事　業　名　　三沢の夏！体感プログラム

団体名	Misawa Art Project		
代表者名	田村　宣喜		
事業実施総額	1,138,606 円	補助金額	1,000,000 円
事業実施日	平成 29 年 7 月１５日、１６日、２８日～３０日、8月１０日、１１日		
事業概要・成果	**「事業内容」** 　地区ごとに異なる三沢の魅力を体感することで郷土への誇りとその地で暮らした楽しい思い出を子どもたちの心に届けることを目的に、中心商店街でのレモネードスタンドと小川原湖畔他での縄文人体感キャンプを実施する。 ・7/15(土)、16(日)「レモネード子供屋台村」事前ワークショップ ・7/28(金)～30(日) 本番(三沢七夕祭り)　 小学校４年生～中学生 計 18 名 ・8/10(木)～11(金)「縄文大冒険キャンプ」小学校３年生～6 年生 計 20 名 **「市民への波及効果」** ・参加してくださった親御さんから、子供だけではなく自分たちも親も三沢の地域資源や歴史の素晴らしさを再確認できたこと、普段は参加しないお祭りへ足を運ぶきっかけになった、学校や家庭では体験させてあげられないことを子供達に体験させてあげられたことは大変素晴らしい機会になったとご感想をいただき、参加対象は子供たちでしたが、その親、おじいちゃんおばあちゃん世代へも気づきがあった事業だった。 **「他団体との連携」** 　Misawa Art Project のメンバーだけでは体験させてあげられないことも、専門の知識、経験がある方々と連携することで、子供たちに提供できる活動内容や知識量が大幅に広げてあげられる結果となった。 **「成果」** ・良かった点 新たな企画や場所を事業に組み込むことにより、参加した子供達はもちろん、スタッフの私たちも地域資源の再発見・確認ができ、これからの活動につなげたいと思えた。 ・悪かった点 スタッフ全員が仕事を持ちながら取り組んでいることから、時間的な余裕がなく、募集開始の時間や準備、親御さんへの連絡などがスムーズに行かない場面もあった。 **「改善点」** 　悪かった点も含め、もう少し計画や時間に余裕をもちたい。 		

事　業　名　　小川原湖アクティビティ　ブラッシュアップ事業

団体名	小川原湖ロマン会議		
代表者名	坂本　稔		
事業実施総額	1,492,171 円	補助金額	1,000,000 円
事業実施日	平成 29 年 7 月 1 日、23 日、9 月 3 日		
事業概要・成果	**「事業内容」** カヤックというアクティビティを小川原湖観光の主軸とし、観光資源としての活用はもちろん、三沢市民をはじめ周辺市町村が小川原湖に訪れる機会をつくるため、カヤック無料体験、無料カヌースクール、無料カヤックスクール＆SUP 体験、小川原湖漕ぎ大会等を行う。 ・7/1(土)　『小川原湖カヤック無料体験会』　参加者数　計２９名 ・7/23(日)　『小川原湖カヌースクール』 ・9/3(日)　『小川原湖漕ぎ大会 2017』 **「市民への波及効果」** ・これまで長年、小川原湖でのカヤック体験を通して活動してきているので告知・PR がおこなわれての反応はしっかりとある。今年度は各イベントのチラシの配布を三沢市限定でおこなったこともあり、活動の認知もされていることと思う。今後も継続して小川原湖の PR につなげていきたい。 **「他団体との連携」** (一社)三沢市観光協会ならびに同協会運営 Ogawarako　KayakLABO, 小川原湖漁業協同組合, 国土交通省東北整備局高瀬川河川事務所小川原湖出張所にも協力をいただいている。 **「成果」** 今年度は JR 北海道新幹線開業デスティネーションキャンペーンのアフターイヤーということで昨年、一昨年と三沢市そして(一社)三沢市観光協会のすすめる事業と並行して、当団体としての三沢・小川原湖観光振興の最終年とこれまでの活動をブラッシュアップすることに努めてきた。天候の影響をかなり大きく受けてしまったが、しっかりとその役割は果たせてきたと思う。また今年度は事業のスリム化もおこない、次年度以降、補助金に頼らずに運営していくための基礎もつくることができたので、来年度は自主事業としてカヤック体験に関する事業をすすめていきたい。 **「改善点」** 次年度以降、自主事業として運営をしていくために事業予算をさらに精査していきたい。ただイベントを縮小するということでなく、より効率よくしてさらに大きなイベントにしていきたい。周知の部分をもっとしていかなければならないので、さまざまなメディアを活用して、全国各地からの参加を促していきたい。		

事　業　名　　中心市街地活性化事業

団体名	ライフコミュニティパークみさわパワーズ		
代表者名	長濱　佳祐		
事業実施総額	1,056,905 円	補助金額	951,000 円
事業実施日	平成 29 年 8 月 26 日(土)		
事業概要・成果	**「事業内容」** 　ライフコミュニティパークを地域及び高齢者や障がい者が共生する空間とし、中心市街地全体に賑わいを取り戻し活性化につなげることを目的に、福祉フェアや、個人作家による出店販売、高等学校吹奏楽部や三味線及びアマチュアバンドの演奏、フラダンス、講演会、キッズコーナー等の「ガーデンフェスティバル 2017」を開催する。 　8 月 26 日(土)　　参加人数　　約 1,400 人　(スタッフ 30 人) **「市民への波及効果」** ・今回は、多数の人に来ていただき、会場内は賑やかな雰囲気で混雑していました。出店コーナーでは、福祉フェアや一日ショップ、フードコーナー、フリーマーケットなど全般的に混んでおり、高齢者や障害者を始め多数の地域住民が買い物や出演者の発表を楽しんでいました。来場者からは、出店も多く雰囲気もよく、去年より華やかで祭りらしいと思います等良かったとの声が多く聴かれました。 **「他団体との連携」** ・市役所通り商店街が中心となり、ポスターの掲示に努めてくれたほか、独自の抽選会を開催し商品等の協力を頂いた。 **「成果」** ・良かった点 福祉関係を始め多方面から多くの出店をしていただき大好評でした。また、イベントでも去年の倍のイベントの参加者が、太鼓、ダンス、踊り、コーラス、バンド、三味線、吹奏楽などを披露してくれた。 ・悪かった点 多数の人の来場で、会場が非常に混雑し、スタッフの誘導や説明が足りなかったり、抽選会等が一部スムーズに進行できなかった。 **「改善点」** 　多数の人の来場でも、進行がスムーズに出来るように、スタッフの教育等を行うほか、抽選会の見直しなどを改善していきたい。 		

事　業　名　　ハンドメイド体験プロジェクト

団体名	ハンドメイドサークル		
代表者名	馬場　はるみ		
事業実施総額	756,352 円	補助金額	675,000 円
事業実施日	平成 29 年 10 月 26 日～平成 30 年 2 月 28 日		
事業概要・成果	**「事業内容」** 裂き織り、さしこ、編み物、パッチワーク、要塞、かごバック、リメイク等の体験を通じ、高齢者の居場所づくり、生きがいづくり、若者と高齢者との交流を行う。 毎週木・金・土曜日　(50 回) 参加者　延 182 人、内小学生延 17 人 **「市民への波及効果」** ・小学生への裂き織の周知と高齢者の居場所づくりに効果があった。 「他団体との連携」 ・寺子屋、いきいきの主催者が体験したり、サッカー保護者会の体験もあった。 **「成果」** ・体験の後に楽しかったと言われ、こんな場所が欲しかったと言われたことが嬉しかった。 ・サークルスタッフの参加が少なく、十分な活動ができなかったが、新しく参加してくれる人も数人増えた。 **「改善点」** 小学校低学年は裂き織の機には届かず、体験できなかった。身長・学年を制限すべきだった。 		